

今日は、終戦記念日

「今日の朝日新聞朝刊34面の『生きてなお生きて』に、貴女の勤務する箱根病院に入院中の傷痍軍人の高齢者の記事が載っているよ。」と簡単にメル友へ送信。

早速、返信があった。

「今、さん・さんのお二方。さんが先月亡くなりました。七夕コンサートの最中。HOSPの構造上、急変心マッサージ施行しながら、また後刻、ご遺体の姿で会場を横切りました。新盆です。今も奥さんは生活用品の片付けで住んでおられます。

お二方とはいつの間にか「仲良しさん」になってます。時々雑談に来られたり、ご自分で作ったキューリなどを持ってきてくれますよ。外部の診療期間付き添いは代々、指導室が役割担当してるようで、私も主務を中止して行った事もあります。

お二方は、行政的存在と云われています。今でも箱根は廃院除外対象です。今日は終戦記念日です。」

今朝のTV報道番組の中で、ゲストが友人から聞いた話として引用していたが、電車の中での友人の向かいの席の若者同士の会話で、「昔、日本とアメリカは戦争したんだって。」
「うそ〜。」

先の終戦日は、60年前の今日。でも、今もなお、戦争を引きずって生きて行かざるを得ない方々があり、また、時代が変わろうと若者たちが自分たちの未来を考えるためにも、歴史の年代記述として伝えるだけでなく、過去の出来事から若者たちに伝えるべきことはあると思う。

私にとっても、先の戦争はメル友を介してまだ身近な話と気づかされた今朝の一時であり、せめて今日一日でも、何を学び、何を世代を越えて伝え続けるべきかを私なりに色々と考えてみたいと思っている。

(2004年08月15日記)